



個人投資家向け会社説明会

株式会社N F Kホールディングス
東証JASDAQ（証券コード：6494）
平成27年3月13日～14日

1

会社概要

2

事業内容

3

経営成績・経営戦略

4

株主還元とCSR

会社概要



会社名 株式会社N F Kホールディングス

本社所在地 横浜市鶴見区尻手2丁目1番53号

代表者 代表取締役社長 関口 陽介

設立 1950年（昭和25年）4月12日

資本金 21億3千1百万円

売上高 31億7千1百万円

従業員 従業員 95名 （連結）

連結事業内容 工業炉燃焼装置関連事業

決算日 3月31日

発行済み株式数 30,713,342株

上場証券取引所 東証JASDAQ（スタンダード） 証券コード：6494

単元株式 100株

（平成26年3月末現在）

年 月	主 な 出 来 事
昭和25年 4月	日本火熱工業材料株式会社を設立
昭和25年 6月	日本ファーンレス工業株式会社に商号変更
昭和33年 6月	大阪事務所開設
昭和37年 8月	横浜市鶴見区に本社事務所建設
昭和38年 5月	日本証券業協会に株式を店頭登録
昭和45年 5月	日本ファーンレス製造株式会社を設立
平成11年 6月	鶴見工場売却
平成16年 12月	ジャスダック証券取引所に上場
平成18年 10月	商号を株式会社N F Kホールディングスに変更。
平成18年 10月	日本ファーンレス株式会社（現・連結子会社）設立
平成20年 10月	株式会社ファーンレス E S（現・連結子会社）を設立
平成22年 1月	日本ファーンレス製造株式会社を解散し、全事業を日本ファーンレス株式会社に譲渡
平成25年 6月	日本ファーンレス燃焼技術研究所設立

企業グループの概況



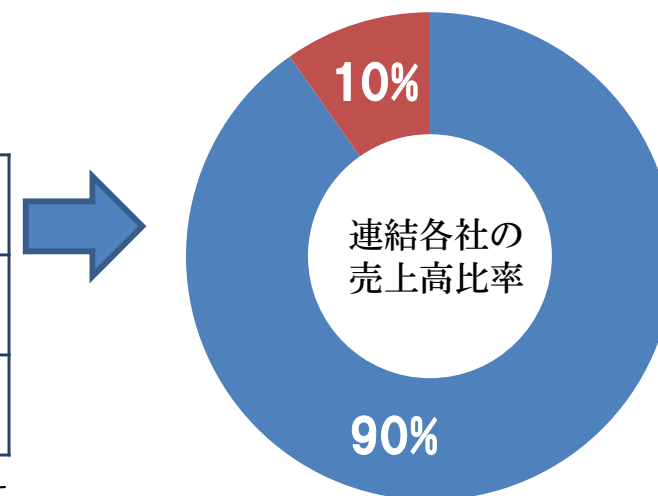
(1) 企業集団の主な事業内容

当社は燃焼装置関連事業をコアビジネスとするホールディングカンパニーとなっており、連結子会社2社と持分法適用関連会社1社からなる企業集団となっております。

(2) 企業集団の構成

会社名	事業内容	売上高
日本ファーンネス株式会社	燃焼関連装置製造販売	2,860百万円
株式会社ファーンネスES	燃焼関連装置メンテナンス	309百万円

※株式会社リエロジャパンは持分法適用関連会社となります。



■ 日本ファーンネス ■ ファーンネスES

NFKホールディングス 企業理念

株式会社NFKホールディングスは、長年培った燃焼技術を基に、絶え間ない努力とチャレンジによって、最先端技術を社会に提供し、地球環境保全と循環型社会の実現に貢献するとともに、株主の皆様は勿論、企業を支えるお客様や取引先、社員、地域社会等の全てのステークホルダーの繁栄を目指して事業活動を行います。



最先端技術を社会に提供し、地球環境保全と
循環型社会の実現に貢献

当社製品の社会とのかかわり



最終製品	当社製品	最終製品	当社製品
① ビルの空調・熱源	ボイラ用バーナ	⑧ セメント	石灰焼成のためのバーナ
② アルミエンジン	アルミニウム合金熱処理のための工業炉	⑨ 水素・水素ステーション	小型水素製造装置におけるバーナ
③ アルミタイヤホイール	アルミニウム合金熱処理のための工業炉	⑩ 天然ガス	環境負荷ガス燃焼装置
④ 車のフロントガラス	ガラス曲げ加工のための加工炉	⑪ ソーラパネル	各種素材製造プロセス用加熱炉
⑤ 石油・灯油・各種石油関連製品	石油精製プロセスにおける加熱炉	⑫ 下水処理場	汚泥焼却設備
⑥ 鋼材	製鉄所用の加熱炉バーナ	⑬ ごみ焼却場	焼却炉用バーナ
⑦ 食品製造工場	殺菌加熱用ボイラ用バーナ	⑭ 化学工場、ガスプラント	廃液・廃ガス無害化燃焼装置

当社製品の社会とのかかわり



NFK製品はこんなところに
に使われています。

合わせガラス曲加工炉

車体用鋼板連続焼鈍炉用
ラジアントチューブバーナ

強化ガラス曲加工炉

高張力鋼板熱間
プレス用加熱炉

アルミホイール熱処理炉

1

会社概要

2

事業内容

3

経営成績・経営戦略

4

株主還元とCSR



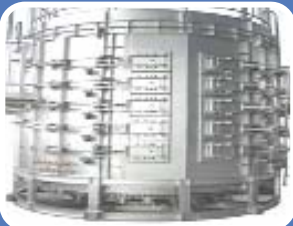
1. プラントエンジニアリング事業

- ・産業機械関連
- ・ガス石油関連
- ・環境関連



2. 燃焼機事業

- ・金属加熱関連
- ・ボイラ関連



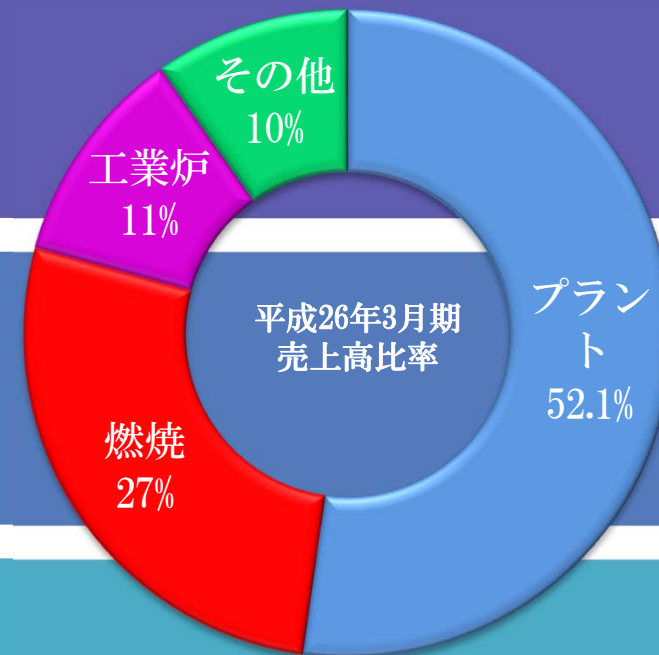
3. 工業炉事業

- ・自動車関連
- ・金属加工炉関連



4. その他

- ・メンテナンス事業
- ・その他



■石油精製、石油化学、窯鋳業等の各種産業プラント用燃焼装置や加熱装置、環境に配慮した焼却設備やプロセス装置、廃液廃ガス焼却装置、また、低NO_x性に優れたロータリーキルン用バーナなどを製造・販売。

【取り扱い製品】

- 加熱炉用バーナ・ロータリーキルン用バーナ
- 熱風発生炉・加熱炉
- 廃液・排ガス・焼却設備・プロセス装置

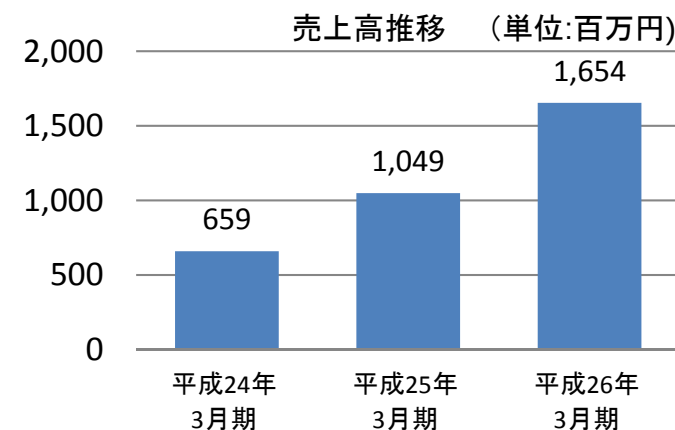
【納入先】

- セメントメーカー
- 石油関連企業、化学関連企業
- 天然ガス関連企業

Pickup !

■廃液&廃ガス燃焼装置

現在、当社の主力商品となっており、天然ガスプラントや化学工場などで発生する廃ガス&廃液を無害化する環境装置となっている。



プラントエンジニアリング事業



ロータリーキルン燃焼状態



ロータリーキルンバーナ



特殊熱風発生炉(高压型)



直火式熱風発生炉



空気加熱炉



HRS-UXバーナ



硫黄回収装置



廃液&廃ガス燃焼装置



産業機械関連

- 【主な製品群】
- ・ロータリーキルンバーナ
 - ・熱風炉
- 【主な販売先】
- ・セメント関連企業

石油関連

- 【主な製品群】
- ・空気加熱炉用バーナ
 - ・プロセスヒーター用バーナ
- 【主な販売先】
- ・石油精製企業

環境関連

- 【主な製品群】
- ・HRS-UXバーナ
 - ・インシネレーター
 - ・小型加熱炉
- 【主な販売先】
- ・化学関連企業
 - ・天然ガス採掘施設

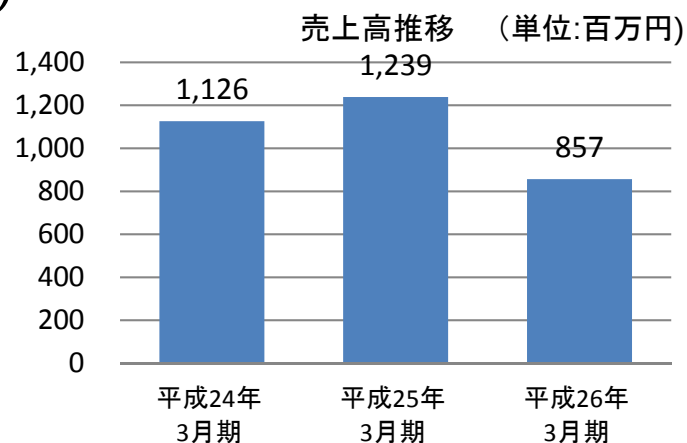
■高効率で低NO_x性に優れたボイラ用バーナ、各種バーナなど、最新の熱技術による製品を設計・製造・販売。

【取り扱い製品】

- ボイラ用バーナ
- ガラスエコマイザー
- ラジアントチューブバーナ

【納入先】

- ボイラメーカー
- 鉄鋼関連企業
- 窯業関連企業



Pickup !

■蓄熱式ラジアントチューブ燃焼システム

高温空気燃焼技術を鉄鋼用熱処理炉など各種熱処理炉に適用可能かつ低NO_xを同時達成。ラジアントチューブ用ハニカム内蔵型リジェネレイティブバーナ。

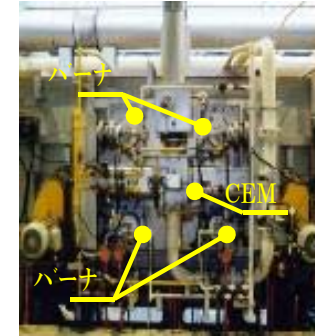
水素バーナ



ULN型低NO_xバーナ



メッキ設備用 HRSラジエントチューブバーナ



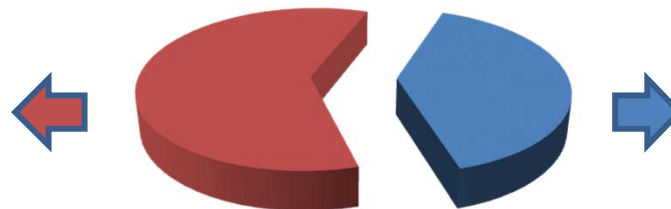
連続焼鈍設備用HRSRTバーナ



ボイラ用廃熱回収器



ガラス製熱交換器



ボイラ関連

【主な製品群】
水管ボイラ用バーナ
水素バーナ
多種燃料バーナ

【主な販売先】
大手ボイラメーカー

金属加熱炉関連

【主な製品群】
鉄鋼加熱用リジェネ
バーナ
ラジエントチューブ
バーナ

【主な販売先】
鉄鋼関連企業
窯業関連企業

鍛造加熱炉用HRS-DLバーナ



鍛造加熱炉用HRS-DLバーナ



■セラミックハニカム搭載のリジェネレイティブバーナを適用した高性能工業炉を数多く提供。

【取り扱い製品】

- バスケットレス回転炉、各種連続炉
- 各種熱処理炉
- 台車型焼鈍炉

【納入先】

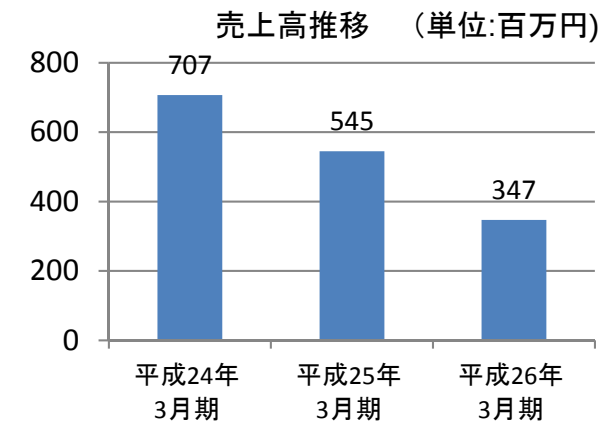
- 自動車メーカー、自動車部品メーカー
- 金属加工企業
- 熱処理関連企業

Pickup !

■バスケットレス回転炉

日本機械工業連合会 優秀省エネルギー機器 『経済産業大臣賞』受賞。バスケットレス化を実現したことにより、従来製品より42%もの省エネ化を実現。

多くの国内自動車メーカーにて採用実績あり。



バスケットレス多段回転炉



2階建AL鋳物T6熱処理炉



自動車用ガラス曲加工炉



高張力鋼板連続加熱炉



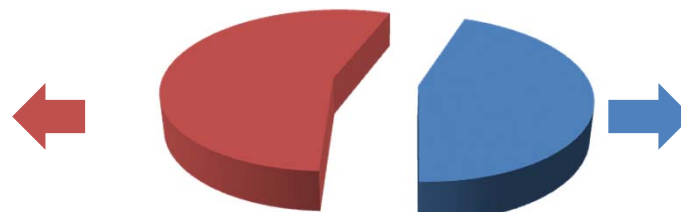
バッチ式熱処理炉(直火式)



バッチ式熱処理炉(RT式)



多目的合金鋼バッチ炉



自動車関連

【主な製品群】
バスケットレス回転炉
ガラス曲げ加工炉

【主な販売先】
大手自動車メーカー
自動車部品製造メーカー

鉄・非鉄金属熱処理関連

【主な製品群】
鉄・非鉄金属熱処理炉
熱処理用ラジアント
チューブバーナ

【主な販売先】
金属加工メーカー
熱処理関連企業

大型案件受注状況



★大型案件受注状況（以下は全て納入済み）

（平成20年受注案件）

国内大手自動車メーカー様より、バスケットレス回転炉の受注。売上高約4.8億円。

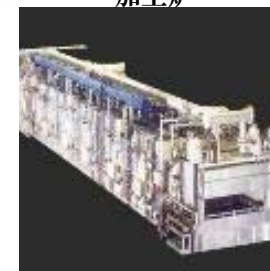
バスケットレス
回転炉



（平成23年3月18日開示）

セントラル硝子株式会社様より海外向けガラス曲げ加工炉の受注。売上高約4億円。

ガラス曲げ
加工炉



（平成23年10月17日開示）

マレーシアLNG社様よりインシネレータ（廃ガス廃液焼却炉）の受注。売上高約3.5億円。

大型加熱炉



（平成25年1月17日開示）

海外プラント向けに国内大手エンジニアリング会社様より大型加熱炉の受注。売上高約6億円。

インシネレータ
（廃ガス廃液焼却炉）



（平成25年6月18日開示）

マレーシア向けに日揮株式会社様よりインシネレータ（廃ガス廃液焼却炉）の受注。売上高約10億円。

各種受賞歴



受賞年	対象	受賞内容
1999年	HRS燃焼システム	(公財)大河内記念会 大河内記念大賞（共同受賞）
1999年	高性能工業炉開発プロジェクト	(社)日本工業炉協会 日経地球環境技術大賞
1999年	中・小口径HRSラジアントチューブバーナ	(社)日本機械工業連合会 優秀省エネルギー機器表彰（共同受賞）
1999年	小型高純度水素製造装置	(社)日本機械工業連合会 優秀省エネルギー機器表彰（共同受賞）
2000年	環境調和型蓄熱式低NO _x 燃焼技術	(一社)日本発明協会発明実施功績賞並びに発明賞（共同受賞）
2001年	高温空気燃焼装置の開発	米国機械技術者協会ジョージ・ウエスティングハウス・銀賞
2004年	熱利用技術の発展のためのマネージメント能力およびリーダーシップ	米国機械技術者協会ランディスメダル賞（共同受賞）
2006年	バスケットレス多段回転炉床式アルミニウム合金熱処理炉	(社)日本機械工業連合会 優秀省エネルギー機器『経済産業大臣賞』
2006年	高温空気燃焼制御技術の研究開発	(社)日本エネルギー学会 学会賞（共同受賞）
2009年	多段熱回収システム搭載型コンパクト水素製造装置	(社)日本機械工業連合会 優秀省エネルギー機器会長賞（共同受賞）

1. 卓越した技術力

- 高温空気燃焼等の様々な新技術の発見、導入
- 多数の受賞歴
- 60年以上の経験と実績に基づく圧倒的な技術

2. カスタムメイド

- 受注生産により、顧客のきめ細かい要望に対応
- 鉄鋼、非鉄、熱処理、窯業、石油化学・天然ガスプラントなど多分野へ供給
- 在庫リスク等は無し

3. 高い製品信用力

- 高性能・高機能の製品分野に強み
- 高いリピートオーダー率

4. 優良な顧客基盤

- 販売先は大手優良企業が大部分を占める

5. ファブレスで柔軟な経営

- 自社工場生産は約1割程度。実質的なファブレス企業
- 経営的選択肢が極めて豊富

6. 豊富な知財・特許

- 今まで取得した特許は
国内特許219件、海外特許118件

★研究開発方針

シェールガス・オイル、反原発、再生可能エネルギーへの傾倒など、世界のエネルギー地政学が地殻変動を起こしている中、あらゆる燃料に対して環境とコストを両立した燃焼技術を開発することで、グローバルマーケットにおけるプレゼンスを発揮することを念頭においています。

☆あらゆる燃料について

●各種オイル

●LNG（天然ガス）

} 従来の燃料群

●低品位燃料

新興国で多く利用されている、微粉炭、亜炭、オイルコークス等

●バイオマス燃料

木質系資源、その他生物系資源等

●シェールガス

2017年より輸入開始予定

★新型ハイモータム・キルンバーナ

- 高性能セメント焼成用キルンバーナの新製品が開発完了。
顧客での実地テストも良好で来期中にも受注開始予定。

特長

革新的な火炎制御性能、燃焼効率、低公害性を実現

→成長を続ける新興国市場での新規顧客獲得

→国内外既存顧客への海外メーカーによる攻勢に対抗



キルンバーナによる火炎パターン変化試験

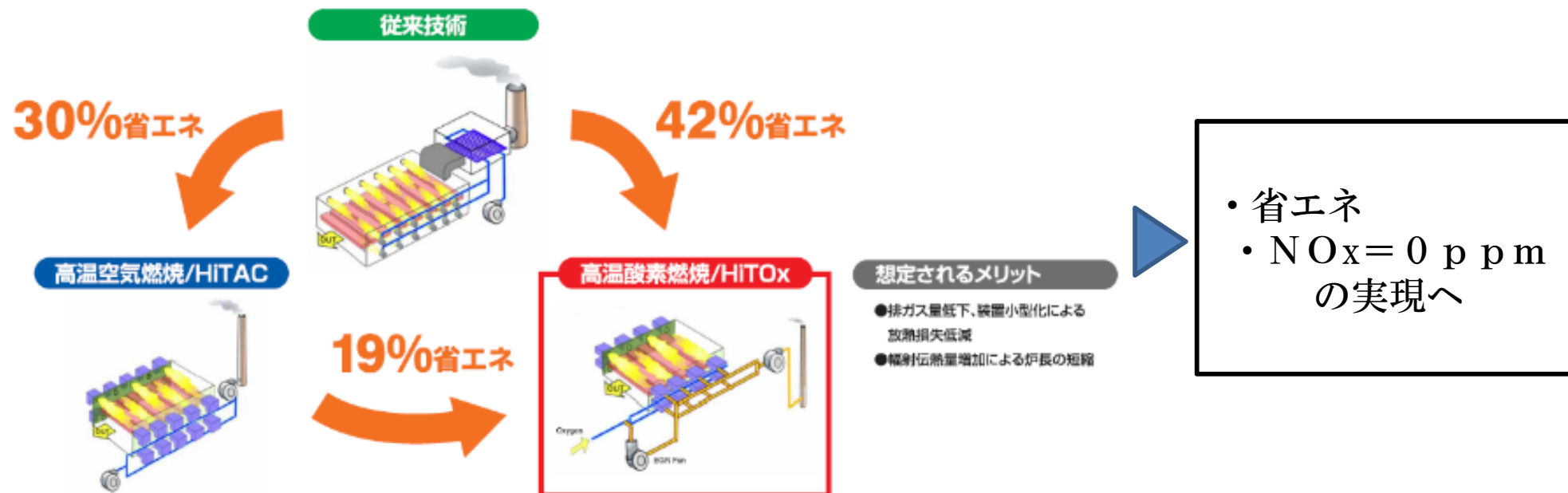
高温酸素燃焼技術HiTOxの開発

高温空気燃焼技術を発見し、その開発をリードした
NFKグループの新たな挑戦

■高温酸素燃焼装置とは？

従来の空気を使った燃焼では無く、純粋な酸素を高温にして燃焼させることにより、排ガス量低下による効率化を実現するとともに、 $\text{NO}_x = 0$ レベルの燃焼を実現する事が可能となる。

高温酸素燃焼の工業的な利用方法（連続鉄鋼加熱炉の場合）



★研究開発体制

●燃焼実験（日本ファーマス燃焼技術研究所）

平成25年6月に宮崎県西都市に日本ファーマス燃焼技術研究所を設立。

国内最大規模の燃焼試験システム（燃焼試験装置＋測定機器＋解析システム）
となっており、ソフトウェアによるシュミレーション結果を燃焼試験により
実証することで、短期間での開発を実現。



1

会社概要

2

事業内容

3

経営成績・経営戦略

4

株主還元とCSR

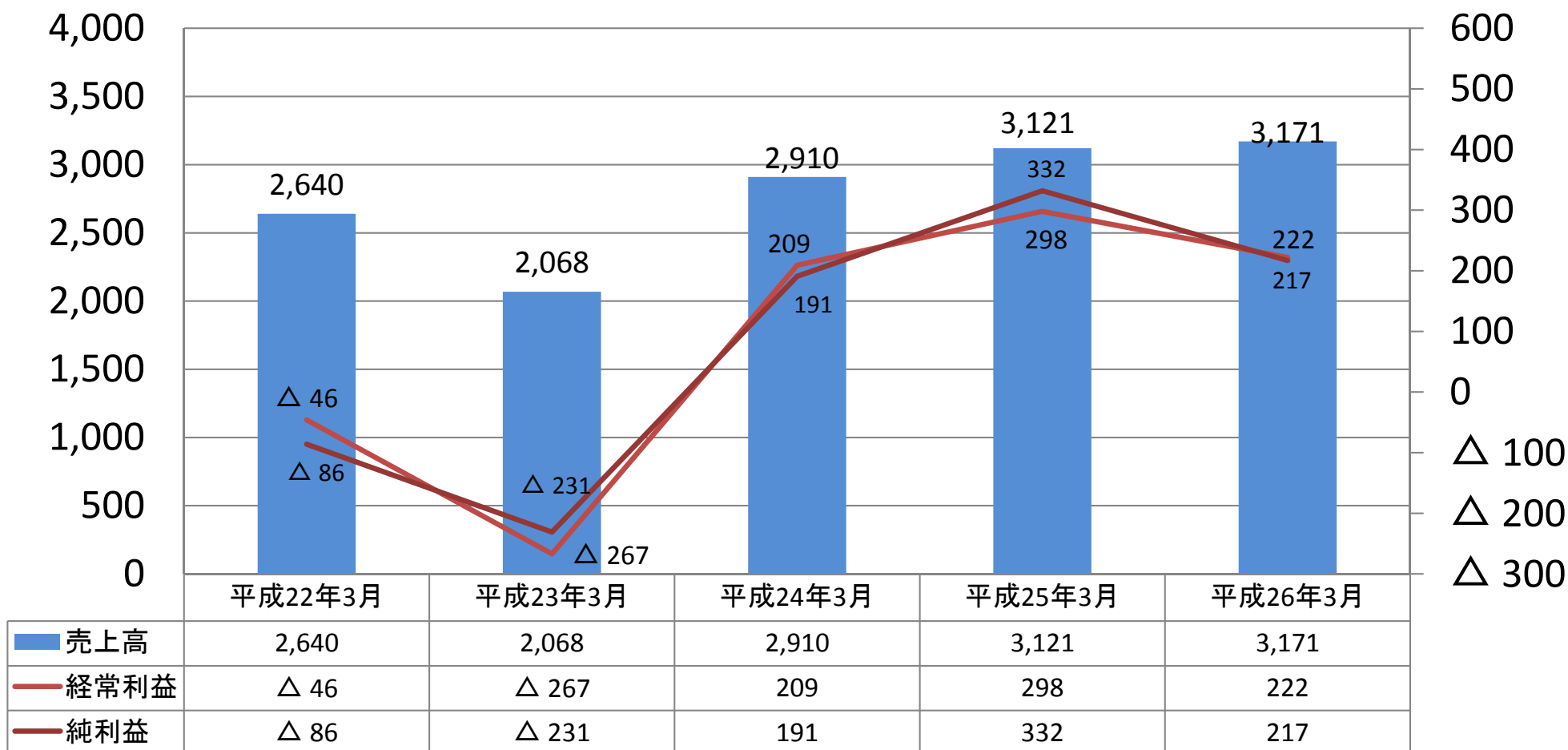
業績の推移



■世界的不況の影響により平成22年～23年は業績低迷したが、
経営再建により平成24年3月期からはV字回復を果たしている。

(単位：百万円)

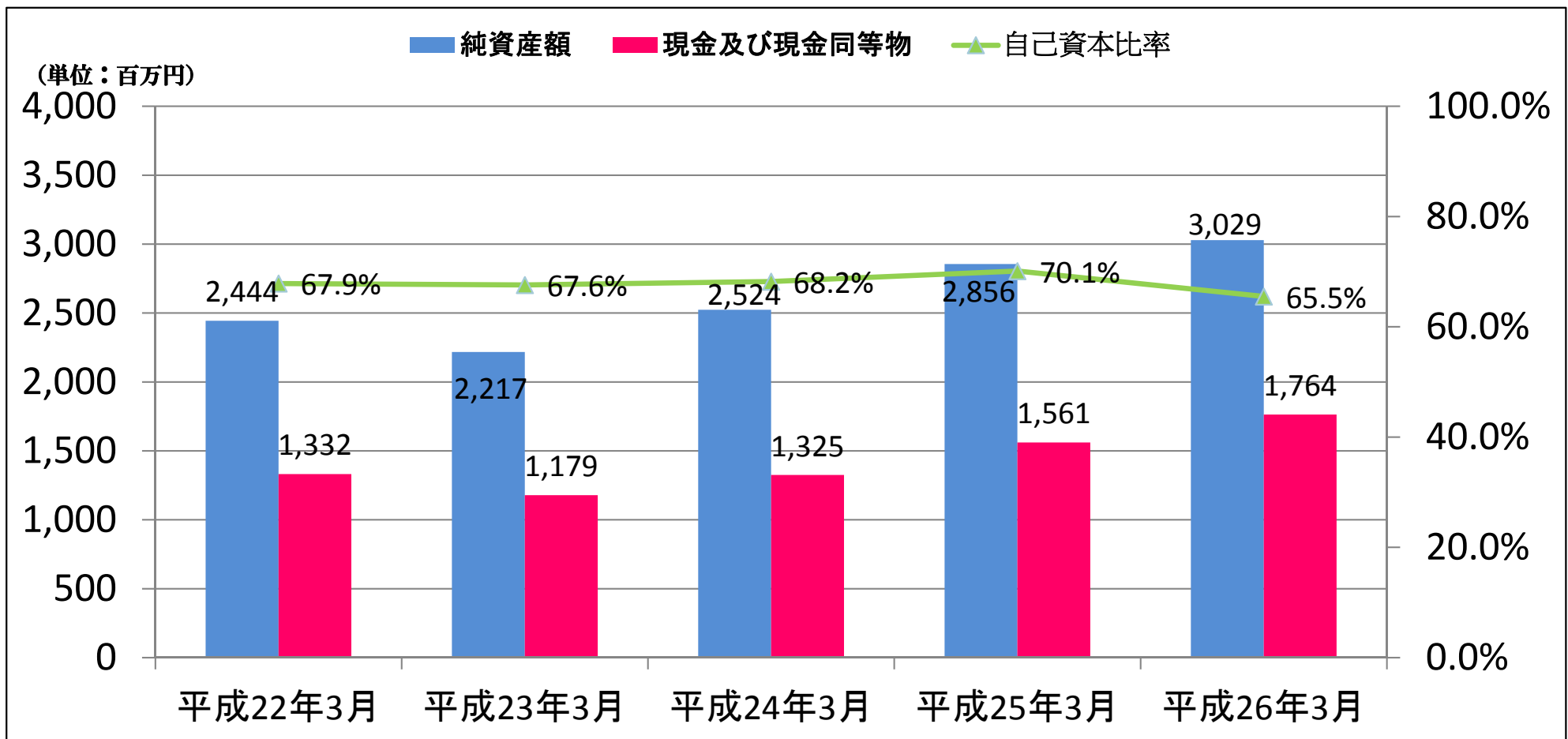
売上高、経常利益、純利益の推移



財務状況の推移



- 高い自己資本比率を堅持
- 純資産に占める現金および現金同等物の比率が高い
- 健全で安定した財務状況



今期業績の見通し



■減収・減益予想も黒字は確保

■配当は1円配当を継続

(単位：百万円)

科 目	平成26年3月期		平成27年3月期		
	第2四半期 累計（実績）	通期 （実績）	第2四半期 累計（実績）	第3四半期 累計（実績）	通期 （予想）
売上高	1,526	3,171	1,410	2,067	3,000
営業利益	84	222	△43	△33	80
経常利益	89	217	△45	△29	80
当期(四半期)純利益	82	186	△61	△41	40
1株当たり当期(四半期)純利益	2.68円	6.08円	△1.99円	△1.36円	1.3円
配当金	-	1.0円	-	-	1.0円

株価指標



(総資産・純資産・自己資本比率は2014年12月末現在)

株価関連指標(株価125円の場合)

時価総額	38億円	EPS(前期実績)	6.08円	EPS(今期予想)	1.30円
株価	125円	BPS(前期実績)	98.64円	BPS(今期予想)	98.65円
総資産	41億2千万円	純資産	29億4千万円	自己資本比率	71.5%
1株配当	1円	配当利回り	0.8%	最低購入代金	12,500円



上段: 株価 (円), 下段: 出来高 (株)

「16 中期経営計画」

経営基本方針

1. 燃焼装置関連事業の海外展開強化
2. 市場ニーズに対応した新製品開発
3. 安定配当の実現
4. コンプライアンス、コーポレートガバナンス重視の徹底

海外売上比率50%へ

新技術新商品の創出

国内基盤固め

トータル原価の削減

持続的成長を目指す

「16 中期経営計画」

基本戦略



海外売上比率50%へ



成長市場をキャッチアップ

- ・海外既存顧客に対するフォロー営業の徹底
- ・ローカルニーズに合致する既存製品の活用
- ・アジア市場での商流確率
- ・個別ニーズへの迅速なローカルフィット対応
- ・海外顧客へのサポート体制確立
- ・現地ベンダーの確保

海外顧客との信頼関係構築、NFKブランドの普及により中長期的な収益拡大を図る

新技術・新商品の創出



技術のNFKを再確立

- ・マーケティングを意識した営業活動の徹底
- ・新製品開発計画への営業部門による主体的な参加
- ・売れる商品開発の徹底
- ・PDCAサイクルの徹底による商品開発の効率化
- ・外部研究機関との積極的な連携

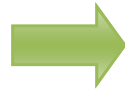
先達が築いた「技術のNFK」の本質に立ち返る

「16 中期経営計画」

基本戦略



国内基盤固め



国内既存顧客との関係強化によるニーズの把握

- ・国内既存顧客に対するフォロー営業の徹底
- ・強みのある商品を活かした仕掛ける営業
- ・ナレッジマネジメント強化による組織対応力の強化
- ・業務効率の向上

マーケティング体制構築により
新技術・新商品の創出、収益の持続
的拡大の基盤を固める

トータル原価の削減



高利益の実現

- ・営業活動の効率化による原価低減
- ・エンジニアリング活動の効率化による原価低減
- ・低コストを意識した、仕様や材料の見直し
- ・短納期、低コストを意識した新工法・生産技術の確立

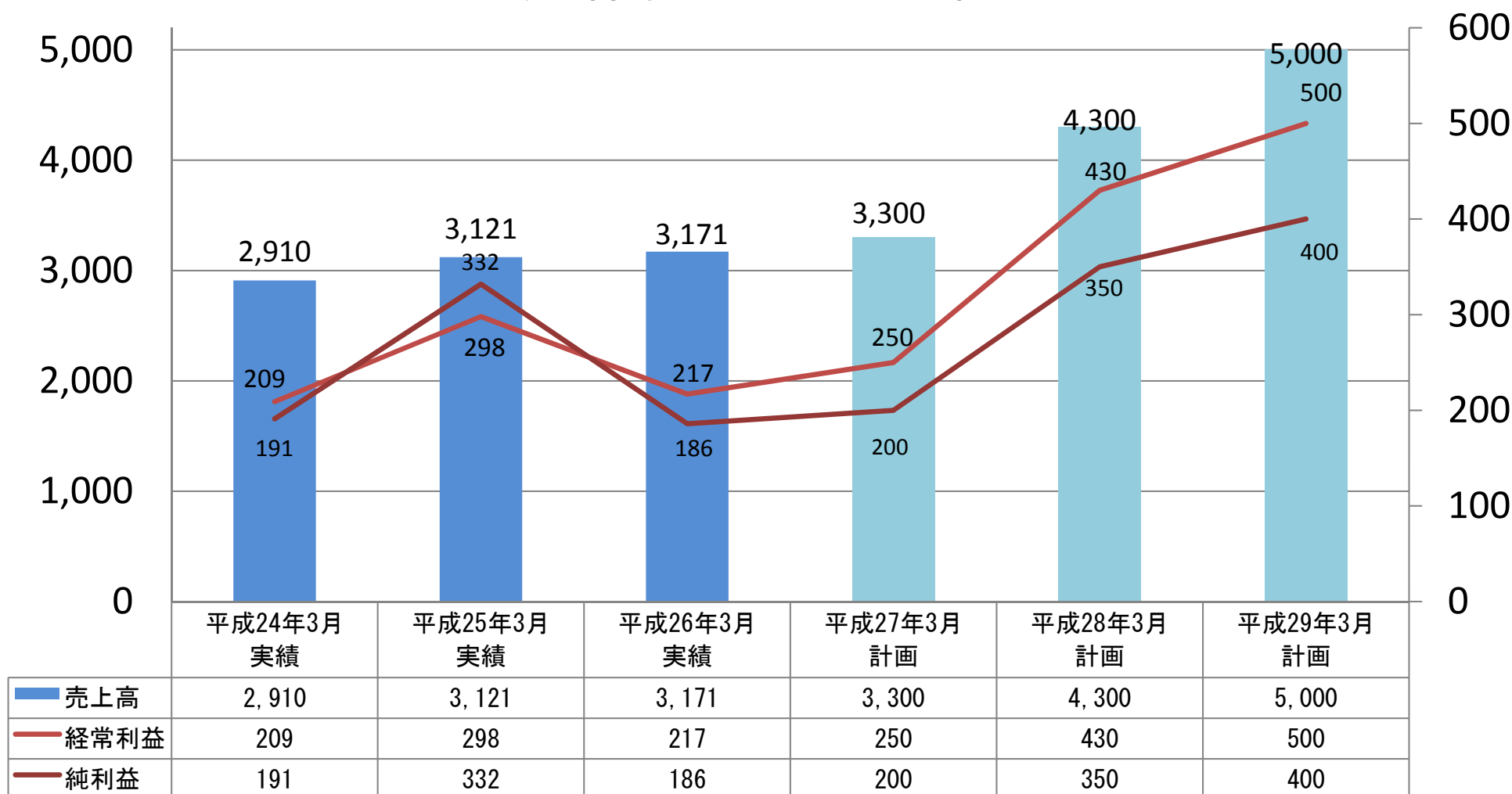
トータル原価の削減を実現して高利
益を実現する

「16 中期経営計画」

2014～2016年度 業績目標

(単位: 百万円)

売上高、経常利益、純利益の目標



1

会社概要

2

事業内容

3

経営成績・経営戦略

4

株主還元とCSR

株主還元について



(1) 株主還元について

■ 平成25年3月期に復配

当社は、株主の皆様への利益還元を充実させていくことを経営の最重要課題の一つに位置づけ、安定的な企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な財務基盤を構築すべく株主資本の充実を図りながら、収益動向とのバランスに配慮した利益配分を行うことを基本方針としております。

	平成23年 3月期	平成24年 3月期	平成25年 3月期	平成26年 3月期
利益剰余金	△10百万円	84百万円	204百万円	280百万円

(2) 配当実績&予想

	中間配当金	期末配当金	年間配当金
2015(平成27)年 3月期予想	—	1円00銭	1円00銭
2014(平成26)年 3月期実績	—	1円00銭	1円00銭
2013(平成25)年 3月期実績	—	1円00銭	1円00銭

当社のCSRへの取組み



最先端の燃焼技術で地球環境保全と循環型社会の構築に貢献



あらゆるステーク
ホルダーと良好な
関係を築き上げる

取引先

株 主

社 員

地域社会

地球環境

コーポレートガバナンス

法令遵守

情報開示

効率性

収益性

内部統制

リスク管理

企業価値の向上

IR活動の状況



IRサイト



■IRサイト

<http://www.nfk-hd.co.jp/ir/>
I R資料の充実や株価表示など、
皆様にご好評頂いております

IRツール



■株主通信

当社株主の皆様へ6月と12月の
年2回お送りしております。

東証 I R
フェスタ
(H27年3月開催)

機関投資家・アナ
リスト向け決算説
明会 (年2回開催)

株主向け
技術説明会
(年1回開催)

本資料に記載されている計画・戦略・見通しおよびその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは現在入手可能な期待・見積り・予想に基づいております。これらの期待・見積り・予想は経済情勢や競争環境の変化等の潜在的なリスク・不確定要素、仮定の影響を受けますので、実際の実績は見通しとは異なる可能性がございます。

また、当社は新しい情報・将来の出来事などに基づきこれらの将来予測を更新する責務を負うものではありません。

本件に関するお問い合わせ

株式会社NFKホールディングス（IR企画室）

WEBによる場合はこちらへお問い合わせ願います

045-575-8000（代表）

E-mail：ir@nfk-hd.co.jp

